

平成 26 年度第二期第 6 回（一社）日本生物物理学会理事会議事録

日時：2015 年 4 月 11 日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

出席者：理事総数 17 名 出席理事 15 名（代表理事を含む。）

代表理事（会長）	七田 芳則	理事（副会長）	有坂 文雄
理事（副会長）	船津 高志	理事	石森 浩一郎
理事	今元 泰	理事	金城 政孝
理事	佐甲 靖志	理事	須藤 雄気
理事	高橋 聡	理事	寺北 明久
理事	永井 健治	理事	根岸 瑠美
理事	林 久美子	理事	村上 緑
理事	山口 真理子		

監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事	難波 啓一
監事	片岡 幹雄

オブザーバー：

邦文誌生物物理編集委員長 原田 慶恵
ホームページ編集委員長 北尾 彰朗
平成 27・28 年度会長候補 中村 春木
平成 27 年度年会実行委員長 安藤 敏夫
平成 28 年度年会実行委員長 豊島 陽子

陪席者：

学会本部事務局 垣内 香里

議長：代表理事（会長） 七田 芳則

議事録作成者： 理事 根岸 瑠美

報告および審議事項：

報告事項：

1. 平成 27 年度年会準備状況（安藤）：報 1
2. 平成 28 年度年会準備状況（豊島）：配布資料なし
3. 出版委員会報告（船津）：報 3
4. 広告について（永井・石森）：報 4
5. 第 4 回 BIOPHYSICS 論文賞選考委員会報告（七田）：報 5
6. 男女共同参画・若手支援委員会報告（有坂）：報 6
7. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：報 7
8. 生物科学学会連合連絡会報告（有坂）：報 8
9. IUPAB・ABA 関連事項（永井・金城）：配布資料なし

10. 文科省一家に1枚ポスター製作報告(林): **ポスター**
11. 支部報告(支部長代理): **報 11**
12. 超顕微科学共同研究拠点構想への賛同書について(七田): **報 12**
13. 蛋白質研究共同利用・共同研究拠点への継続要望書について(七田): **報 13**
14. その他

審議事項:

1. 平成27年度事業計画(案)(七田): **議 1**
2. 平成27年度予算(案)(高橋・佐甲): **議 2**
3. 新理事候補の追加について(中村): **議 3**
4. 社員総会資料(新理事候補選任)の形式について(七田): **議 4**
5. 新理事候補の役割分担について(七田): **議 5**
6. 若手奨励賞の応募資格の変更について(有坂): **議 6**
7. 第53回年会総会ワークショップについて(中村): **議 7**
8. 若手夏の学校援助金について(根岸): **議 8**
9. メディカルオンラインの契約変更について(船津): **議 9**
10. 「タンパク質カタログ(仮)」の出版について(船津): **議 10**
11. その他

議事の経過の要領およびその結果:

理事会の審議に先立ち、会長より、定足数を満たしており、定款第六章第三十二条の規定により理事会が成立していることが報告された。会長が議長に就き、開会を宣言し審議に入った。

報告事項:

1. 平成27年度年会準備状況(安藤): **報 1**

安藤年会実行委員長から年会準備状況の報告があった。

- 1) 採択が決定している2件のシンポジウムでオーガナイザーが1名に変更された。
- 2) 就職マッチング説明会について年会実行委員会で検討した結果、求人企業の説明会は行うが、求職者のPRは行わないこととなった。名称は「キャリア支援説明会」に決定した。
- 3) 参加証のデザインについて報告があり、エーイー企画作成のものに決定した。
- 4) 市民公開講座の会場は立地および座席数を踏まえて「石川県教育会館」に変更した。プロジェクト等の設備は実行委員で準備する。
- 5) 年会の英語版HPの問題点として、リンク先や英語表現に間違いが多い、若手奨励賞・委員会関係・託児所に関する英語の案内ページがない、などが挙げられた。若手奨励賞ページの英訳は本年会で掲載することとし、その他は次期年会に向けて修正予定。

2. 平成28年度年会準備状況(豊島): **配布資料なし**

豊島年会実行委員長より28年度年会準備状況の報告があった。

- 1) 会場であるつくば国際会議はwifiが常時接続可能であり、クレジットカード決済端末の使用が可能。

2) 宿泊場所はつくばエクスプレス駅付近で 2400 ほど確保できる見通し。旅行会社への委託はせず、宿泊先の情報を HP 上での案内に留める予定。

3. 出版委員会報告（船津）：報 3

石渡 BIOPHYSICS 編集委員長に代わって船津出版委員長より、欧文誌「BIOPHYSICS」について報告があった。また、名称変更について審議した。

- 1) 2014 年度の欧文誌の掲載数は 2013 年度を上回った。
- 2) PubMed Central による審査は Step2 を通過し、Step3 の Technical Evaluation に進んでいる。
- 3) 誌名変更の状況について報告があった。中国科学院生物物理学研究所が同名のジャーナルを刊行予定であるため、新名称を再検討する必要が発生した。そこで、出版委員会での議論を踏まえて、Biophysics and Physicobiology と Biophysics Commons の 2 つの候補から審議した。本理事会で結論が得られなかったため、新名称決定ワーキンググループに審議を一任することが決定した。
- 4) Editors' choice award では、エディターからノミネートされた 3 報を含めた候補の中から審査を行う予定。
- 5) 河村悟委員から定年退職に伴う委員退任希望があり、受理した。

北尾 HP 編集委員長より、学会 HP 上での情報公開について報告があった。

- 1) 「公告・情報公開」ページを設け、理事会議事録、選挙結果報告、運営委員会議事録（法人化以前）、総会議事録、収支予算書、事業計画、監査報告書、財務諸表（貸借対照表含む）、事業報告を公開する。また、定時総会議事録に加えて、臨時総会議事録を公開するかどうかは会長が判断し理事会の承認を得ることが決まった。各資料は法人化後のものを公開する。
- 2) 財務諸表等、会計関連の書類は他学会の動向を精査しながら決めるとし、今後も審議を継続する。

4. 広告について（永井・石森）：報 4

永井広告担当理事から、「生物物理」55 巻の広告獲得状況の報告があった。2013 年から 2014 年にかけて広告収入は激減しており、2015 年の広告収入はついに 100 万円を下回る可能性が懸念されている。広告担当者で依頼要項の修正原案を作成し、継続審議することとなった。

5. 第 4 回 BIOPHYSICS 論文賞選考委員会報告（七田）：報 5

七田選考委員長から、第 4 回 BIOPHYSICS 論文賞受賞候補論文の審査状況の報告があった。合計 12 報の論文を審査対象とした。今回、選考委員が著者に含まれる論文が推薦されていたため、BIOPHYSICS 論文賞選考委員会規定に従い、選考委員を変更した。

6. 男女共同参画・若手支援委員会報告（有坂）：報 6

有坂男女共同参画・若手支援委員長より、若手奨励賞の審査委員候補、および、年会時の男女共同参画シンポジウムについて報告があった。

- 1) 若手奨励賞一次審査員を 10 名に依頼し、全員の了承を受けて一次審査員 10 名が決定した。委員会では二次審査員候補者を選出した。メールにて審査依頼を打診する。
- 2) 理事や男女・若手担当委員が若手奨励賞に応募する際の注意点については、今後「若手奨励賞審査マニュアル」を作成し、その中に明記することとした。
- 3) 同一研究内容での応募および招待講演者の位置づけについて委員会での議論の報告があった。奨励賞受賞者 5 名だけでなく、他の招待講演者に対しても賞を授与できないか、という案に対して様々な意見が出た。今後も審議を継続する。
- 4) 金沢年会での男女若手シンポジウムは「ポストク問題」をテーマとし、今回もグループディスカッション形式で行う予定である。

7. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：報 7

有坂男女共同参画・若手支援委員長より、男女共同参画学協会連絡会について報告があった。1 月 14 日の連絡会において、大規模アンケートに基づく要望書が完成し、連絡会ホームページに公開されている。また、アンケートデータ使用ガイドラインが変更され、第 4 回以降の大規模アンケートに適用することが決まった。次回連絡会は 4 月 27 日に開催される。

8. 生物科学学会連合連絡会報告（有坂）：報 8

有坂生科連担当理事より、生科連定例会議について報告があった。

- 1) 第 11 回定例会議が 3 月 11 日に開催された。連絡会の運営委員を代表推薦で選任するように運営規約を変更したこと、また、7 分野で開催される科学オリンピックを今後は全て文科省が所管するとの報告があった。
- 2) 教科書問題検討委員会では生物教育学会が主に用語の整理を行っている旨、報告があった。
- 3) ポストク問題検討委員会で冊子「重要なお願い」を作成したが、今後はデータをアップデートし、第 2 版を作成する予定。
- 4) 次回会議は 10 月 3 日。

9. IUPAB・ABA 関連事項（永井・金城）：配布資料なし

永井・金城国際担当理事から ABA2015 について報告があった。5 月上旬に開催を予定している ABA について、スピーカーリストが確定していない、招待講演者に日本が推薦した研究者リストが全く反映されていない、韓国がボイコットを主張していた、などの問題点が指摘された。台湾・香港・オーストラリアは中国を支持しており、韓国は反発しているという状況が報告された。

10. 文科省一家に 1 枚ポスター製作報告（林）：ポスター

林企画啓蒙担当理事から、一家に 1 枚ポスターの英語版の製作報告があった。英語版ポスターが完成し、A1 で 500 部、A2 で 1500 部を印刷した。これらは ABA など海外の学会での配布を予定している。

11. 支部報告（支部長代理）：報 11

北海道支部、中部支部、中国四国支部の活動報告があった。

12. 超顕微科学共同研究拠点構想への賛同書について（七田）：報 12

七田会長から、「超顕微科学研究拠点構想」に賛同書を提出したとの報告があった。

13. 蛋白質研究共同利用・共同研究拠点への継続要望書について（七田）：報 13

七田会長から、「蛋白質研究共同利用・共同研究拠点継続」の要望書を提出したとの報告があった。

14. その他

- 1) オーストラリアの生物物理学会年会から共同シンポジウムの打診があり、Speaker として 2 名、Protein structure に濡木理氏、Protein dynamics に高橋聡氏を推薦した。
- 2) 4 月 3 日に名誉会員である葛西道生氏が逝去した。葛西氏が長年事務局を引き受けてくださっていたことなど、学会への多大な貢献を踏まえて、学会から弔電を送った。また、葬儀には七田会長が参列したと報告があった。非公式で「偲ぶ会」を計画中。

議題：

1. 平成 27 年度事業計画（案）（七田）：議 1

七田会長から平成 27 年度事業計画案の説明があった。「普及啓蒙活動」の項目に関して追記・変更が認められた。さらに、「女子中高生夏の学校」「女子中高生のための関西科学塾」を併記すること、「人材育成」の項目に「キャリア支援活動の強化」を追加することで、最終版が承認された。完成した事業計画書は社員総会で報告する。

2. 平成 27 年度予算（案）（高橋・佐甲）：議 2

高橋・佐甲会計担当理事より平成 27 年度予算案の説明があり、金沢年会予算案の更新に伴う変更が報告された。前回からの変更箇所は収入の部で、年会参加費収入の上方修正、ランチオンセミナー参加登録費の変更、年会寄付助成金の変更、懇親会費の値下げにともなう懇親会参加費収入の下方修正、支出の部で、年会委託料（託児所費）の変更、郵便振替票関連費用の削除、プログラム集送料の一部を学会誌送料に変更、公開講演会費にプロジェクトレンタル料を追加、講演会会場費の変更、事前参加登録管理費の削除。本案をもって最終版とすることが承認された。

3. 新理事候補の追加について（中村）：議 3

次期会長候補の中村氏から、細則第十一条 2 に基づき、平成 27・28 年度理事候補として株式会社カネカ バイオテクノロジー開発研究所の中井 孝尚 氏が追加推薦され、本理事会で承認された。理事会から代議員へ推薦書を送付する。

4. 社員総会資料（新理事候補選任）の形式について（七田）：議 4

七田会長から、社員総会資料の書式について発議があり、本理事会にて承認された。追加推薦された理事の表記方法は継続審議する。

5. 新理事候補の役割分担について（七田）：議5

七田会長から、平成27・28年度理事候補の役割分担について発議があり、承認された。

6. 若手奨励賞の応募資格の変更について（有坂）：議6

有坂男女共同参画・若手支援委員長より、学会HP中の若手奨励賞ページの表記について変更案が発議された。「若手奨励賞応募資格の変更（検討中）」の内容の変更案について説明があり、理事会で承認された。

続いて、BIOPHYSICSへの論文掲載有無を奨励賞審査で実際に考慮するかどうかについて議論し、将来Impact FactorがつくなどBIOPHYSICSの評判が上がった際に奨励賞応募資格に加えるかどうかを再度議論することとなった。ただし、「応募者は論文を『BIOPHYSICS』に（中略）発表していることが望ましい」と明記しているため、二者が僅差で競り合った場合などの指標にしてもらうよう審査員に告知する。

7. 第53回年会総会ワークショップについて（中村）：議7

次期会長候補の中村氏から、金沢年会の総会ワークショップのテーマと内容について提案があった。タイトルは「生物物理が解明する生命のメカニズム」で、沈建仁氏（岡山大）、山本雅貴氏（理研RSC）、庄司光男氏（筑波大）の講演を予定。この内容が本理事会で承認された。

8. 若手夏の学校援助金について（根岸）：議8

根岸若手担当理事から、若手の会夏の学校への資金援助について提案があり、本理事会にて採択された。

9. メディカルオンラインの契約変更について（船津）：議9

船津出版委員長から、メディカルオンラインの契約変更について提案があった。現在「生物物理」「BIOPHYSICS」のオンライン販売を委託しているが、さらに、著作権権利許諾と著作権使用料の徴収を委託するための契約変更が承認された。

10. 「タンパク質カタログ（仮）」の出版について（船津）：議10

船津出版委員長から新規出版計画の提案があった。「生物物理」に掲載している「タンパク質立体構造散歩」を「タンパク質カタログ（仮）」として出版する（講談社）方向で進行中。初版予定は1500部で、電子書籍も同時に作成する。著作権は学会にあるため印税（売上の10%）は全て学会の収入となる。原稿料・謝金は過去の例にならい、支払わない。この内容が本理事会にて承認された。

連絡事項：

1. 次回社員総会・理事会日程について（七田）

2015年6月27日（土）13時～ 場所：キャンパスプラザ京都

（11時より出版委員会、男女共同参画・若手支援委員会開催）

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は17:00に閉会を宣言し

て散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成 27 年 6 月 1 日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成 26 年度第二期第 6 回理事会

代表理事 七 田 芳 則 (印)

監事 片 岡 幹 雄 (印)

監事 難 波 啓 一 (印)